

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公表番号】特表2005-513252(P2005-513252A)

【公表日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2005-018

【出願番号】特願2003-556449(P2003-556449)

【国際特許分類】

C 08 F	2/38	(2006.01)
C 07 C	327/36	(2006.01)
C 07 C	329/00	(2006.01)
C 08 F	2/22	(2006.01)
C 08 F	12/00	(2006.01)
C 08 F	20/00	(2006.01)
C 08 F	293/00	(2006.01)
C 09 D	5/02	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 09 J	201/00	(2006.01)
C 09 K	3/10	(2006.01)

【F I】

C 08 F	2/38	
C 07 C	327/36	
C 07 C	329/00	
C 08 F	2/22	
C 08 F	12/00	5 1 0
C 08 F	20/00	5 1 0
C 08 F	293/00	
C 09 D	5/02	
C 09 D	201/00	
C 09 J	201/00	
C 09 K	3/10	E
C 09 K	3/10	Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項12

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項12】

R<sup>1</sup>基が、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルコキシアリール又はヘテロアリールから選択され、しかもそれらの各々は-CO<sub>2</sub>H、-CO<sub>2</sub>R、-SO<sub>3</sub>H、-OSO<sub>3</sub>H、-SOR、-SO<sub>2</sub>R、-OP(OH)<sub>2</sub>、-P(OH)<sub>2</sub>、-PO(OH)<sub>2</sub>、-OH、-OR、-(OCH<sub>2</sub>-CHR)<sub>w</sub>-OH、-CONH<sub>2</sub>、-CONHR、-CONR<sub>2</sub>、-NR<sub>2</sub>R、-N<sup>+</sup>R<sub>2</sub>Rから選択された1個又はそれ以上の親水性基で置換され、ここでRはC<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキルから選択され、wは1から10であり、R<sub>2</sub>及びR<sub>3</sub>は独立してアルキル及びアリール(これらは-CO<sub>2</sub>H、-SO<sub>3</sub>H、-OSO<sub>3</sub>H、-OH、-(OCH<sub>2</sub>-CHR)<sub>w</sub>-OH、-CONH<sub>2</sub>、-SOR及びSO<sub>2</sub>R

並びにそれらの塩から選択された1個又はそれ以上の親水性置換基で置換されてもよい)から選択され、そして

Z基が、置換又は非置換のアリール、置換又は非置換のヘテロシクリル、置換又は非置換のアリールアルキル、置換又は非置換のアルキルチオ、置換又は非置換のアリールアルキルチオ、ジアルコキシ-又はジアリールオキシ-ホスフィニル[-P(=O)OR<sup>2</sup><sub>2</sub>]、ジアルキル-又はジアリール-ホスフィニル[-P(=O)R<sup>2</sup><sub>2</sub>]、置換又は非置換のアシルアミノ、置換又は非置換のアシルイミノ、置換又は非置換のアミノ、R<sup>1</sup>-(X)<sub>n</sub>-S-及びポリマー鎖から選択され、ここでR<sup>1</sup>、X及びnはこの請求項に又は請求項6に定義されたとおりであり、そしてR<sup>2</sup>は置換又は非置換のC<sub>1</sub>~C<sub>18</sub>アルキル、置換又は非置換のC<sub>2</sub>~C<sub>18</sub>アルケニル、置換又は非置換のアリール、置換又は非置換のヘテロシクリル、置換又は非置換のアラルキル、置換又は非置換のアルカリールから成る群から選択される、請求項11に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

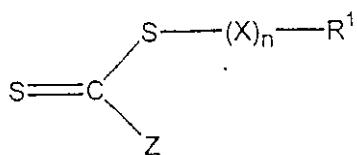
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

本発明において用いるのに適した両親媒性RAFT剤は、一般式(4)

【化1】

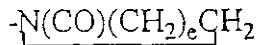


(4)

(ここで、各Xは独立してエチレン系不飽和モノマーの重合残基であり、nは0から100好ましくは0から60最も好ましくは0から30の範囲の整数であり、R<sup>1</sup>は1個又はそれ以上の親水性基で置換されてもよい有機基であり、そしてZはラジカル付加の方にチオカルボニル基の十分な反応性を促進し得る一方、重合の容認され得ない遅延になる程度まではフラグメント化速度を遅くしないいかなる基でもある)を有するものを包含する。好ましいR<sup>1</sup>基は、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルコキシアリール又はヘテロアリール、しかもそれらの各々は-CO<sub>2</sub>H、-CO<sub>2</sub>R、-SO<sub>3</sub>H、-OSO<sub>3</sub>H、-SOR、-SO<sub>2</sub>R、-OP(OH)<sub>2</sub>、-P(OH)<sub>2</sub>、-PO(OH)<sub>2</sub>、-OH、-OR、-(OCH<sub>2</sub>-CHR)<sub>w</sub>-OH、-CONH<sub>2</sub>、CONHR、CONR<sup>1</sup>R<sup>2</sup>、-N<sup>+</sup>R<sup>1</sup>R<sup>2</sup>から選択された1個又はそれ以上の親水性基で置換され、ここでRはC<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキルから選択され、wは1から10であり、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>及びR<sup>3</sup>は独立してアルキル及びアリール(これらは-CO<sub>2</sub>H、-SO<sub>3</sub>H、-OSO<sub>3</sub>H、-OH、-(COCH<sub>2</sub>CHR)<sub>w</sub>-OH、-CONH<sub>2</sub>、-SOR及びSO<sub>2</sub>R並びにそれらの塩から選択された1個又はそれ以上の親水性置換基で置換されてもよい)から選択される。特に好ましいR<sup>1</sup>基は、-CH(CH<sub>3</sub>)CO<sub>2</sub>H、-CH(CO<sub>2</sub>H)CH<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>H、-C(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>Hを包含するが、しかしそれらに制限されない。好ましいZ基は、置換又は非置換アルコキシ、置換又は非置換アリールオキシ、置換又は非置換アルキル、置換又は非置換アリール、置換又は非置換ヘテロシクリル、置換又は非置換アリールアルキル、置換又は非置換アルキルチオ、置換又は非置換アリールアルキルチオ、ジアルコ

キシ - 又はジアリールオキシ - ホスフィニル [ - P ( = O ) OR<sup>2</sup><sub>2</sub> ] 、ジアルキル - 又はジアリール - ホスフィニル [ - P ( = O ) R<sup>2</sup><sub>2</sub> ] 、置換又は非置換アシルアミノ、置換又は非置換アシルイミノ、置換又は非置換アミノ、R<sup>1</sup> - ( X )<sub>n</sub> - S - 及びいかなるメカニズムによっても形成されたポリマー鎖を包含し、ここで R<sup>1</sup> 、 X 及び n は上記に定義されたとおりであり、そして R<sup>2</sup> は置換又は非置換 C<sub>1</sub> ~ C<sub>18</sub> アルキル、置換又は非置換 C<sub>2</sub> ~ C<sub>18</sub> アルケニル、置換又は非置換アリール、置換又は非置換ヘテロシクリル、置換又は非置換アラルキル、置換又は非置換アルカリールから成る群から選択される。特に好みい Z 基は、 - CH<sub>2</sub> ( C<sub>6</sub>H<sub>5</sub> ) 、 C<sub>1</sub> ~ C<sub>20</sub> アルキル、

【化 2 】



( ここで、 e は 2 から 4 である ) 及び - SR<sup>3</sup> ( ここで、 R<sup>3</sup> は C<sub>1</sub> から C<sub>20</sub> アルキルから選択される ) を包含するが、しかしそれらに制限されない。